

実験研究 自分だけの ミニмум・テレビ局



第8回
(最終回)

自作テレビ局を使えばオリジナルの生放送も実現できる!
ミニмум・テレビ局の活用法

濱田 淳

最終回の今回は、連載のまとめとして、ミニмум・テレビの活用法や、デジタル放送のこれからのポテンシャルについても触れていきます。

● その1…マンションやホテルでの活用法： オリジナルの情報配信サービス

ミニмум・テレビ局をマンションやホテルで活用すると、オリジナルの情報配信サービスが実現できます。図2では、二つの情報配信サービスを実現しています。一つ目は、マンション内の全体連絡や掲示板としてのお知らせサービスです。パソコンのプレゼンター

ション・ソフトの画面表示をHDMIで出力し、ミニмум・テレビ局に入力することで、放送できます。

二つ目は、定点カメラを複数台設置し、監視カメラを実現しています。図1では、画面の合成装置を使用して4台の定点カメラの情報を1画面に合成し、そのHDMI出力をミニмум・テレビ局に入力することで、放送しています。

ここでは、お知らせサービスと監視カメラの2種類の映像を、ミニмум・テレビ局を1台ずつ使用して、2チャンネル分のRF出力を作成しています。そのため、どちらをテレビに表示させるかチャンネルで選択

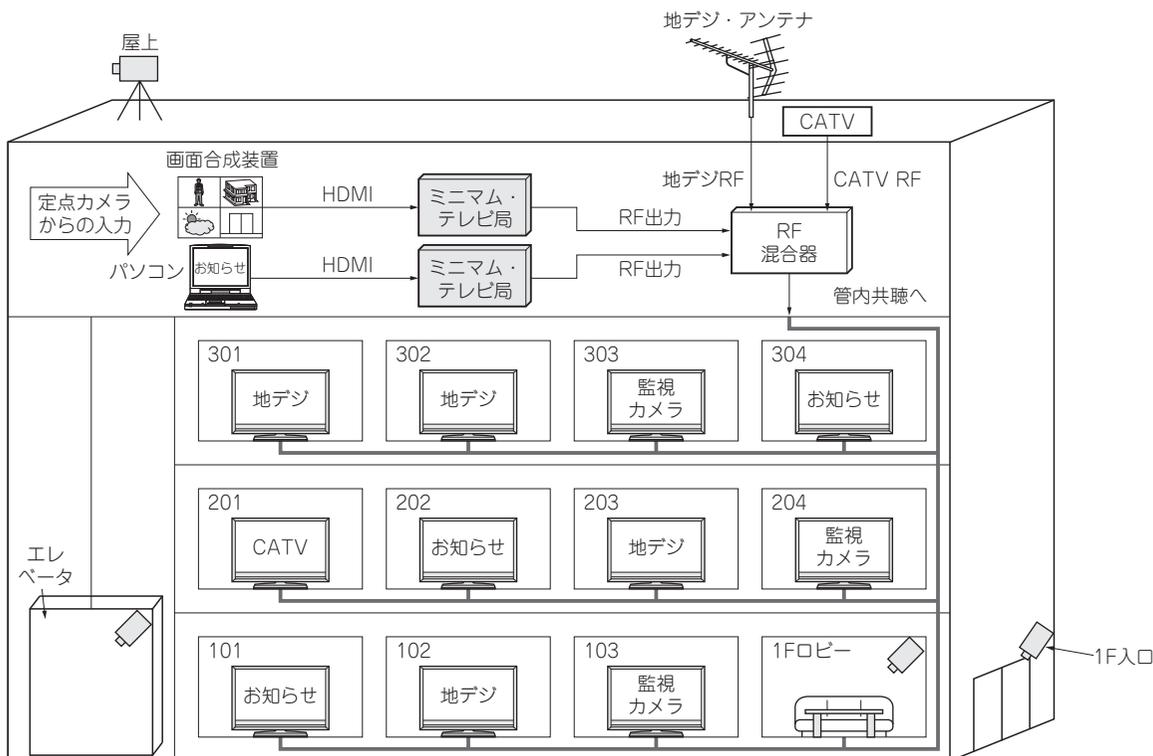


図1 マンションでミニмум・テレビ局

HDMIであればミニмум・テレビ局に入力することが可能なので、パソコンや定点カメラの表示を放送することもできる

第1回 ミニмум・テレビ局の全貌 (2013年11月号)

第2回 放送装置への映像&音声入力あれこれ (2013年12月号)

第3回 放送に欠かせない動画圧縮入門 MPEG-2から4K向け最新H.265まで! (2014年1月号)